

2021-2022 Publication Advertisements

2021-2022 Publication Advertisements and The Asahi Shimbun

出版広告と朝日新聞
出版広告掲載事例集

朝日新聞社

お問い合わせ
〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2
朝日新聞東京本社メディアビジネス第1部
TEL 03-5540-7749

2211-T5-800-A2-S4

朝日新聞社

売上げの“山”を高めるには 長期にわたる宣伝プランが必要不可欠

「本屋大賞」や「ベストセラー発掘プロジェクト」の立ち上げに関わってきた、ブックマーケターの古幡瑞穂さん。本の売上げを伸ばすためには、発売日前からしっかりとプロモーションを行うことが大切と話す。

出版業界は圧倒的に “見える化”が不足している

— 出版の取次会社である日本出版販売(日販)から独立されて、現在*はブックマーケターとして活躍されていますね。

古幡 ネットで検索しても「ブックマーケター」という職業は出てこないと思うのですが、「本の売れる仕組みを作る」ことが、今までやってきた仕事が一番近いと感じて、ブックマーケターと名乗っています。

— 日販時代は、「本屋大賞」や「ベストセラー発掘プロジェクト」の立ち上げに参加していますね。

古幡 本屋大賞は日販とは関係なく、社会活動というかボランティアとして始めたことです。2003年1月に直木賞が

「受賞作なし」となり、書店は本を売る大きな機会を失って落胆していた時に、「じゃあ、自分たち書店員が選ぶ賞を作ればいいじゃないか」と、飲み屋で話し合ったのが始まりですね(笑)。有志が出発点だということ、出版社ではなく書店から賞を発信できたことで、現場の「思い」をうまく発信できたことが良かったと思います。

— 「ベストセラー発掘プロジェクト」はいかがですか。

古幡 こちらは日販の仕事として関わりました。結局、出版業界は圧倒的に“見える化”が不足しているんですね。私が入社した当時なんて、何も数字(情報)がない状態で本を送品して、気が付くと(売れ残りが)どかっと戻ってくることの繰り返し。そこで、日販は、出版、書店、取次のそれぞれが持っている情報を共有・活用できるマーケットツール「オープンネットワークWIN(出版社向け情報開示システム)」を構築しました。この機能を使って全国の書店のPOSを見ると、ある1店舗だけで突出して売れている本があるんです。いかに面白い本、良本であっても、1店舗だけでは冊数はそんなに上がらない。ならば、売れる可能性のある本を全国に発信してみようと思ったのが、「ベストセラー発掘プロジェクト」です。

※2022年9月現在

期待値を上げるためにも 宣伝期間をしっかりと取る

— 書店を巻き込んだ「本を売る仕掛け作り」で、何か業界が変わったと思う点がありますか。

古幡 本屋大賞で言えば、書店は売る側から話題作りをする側にまわりました。絶妙なタイミングで出版社が広告を出せば、売上げが効果的に伸びるんだと、書店が改めて実感したんです。肌身を感じるというか、出版社、取次、書店が売りたい本を共有し、「宣伝から書店に本が並ぶまでの導線」ができていたこと、強さを、自分事として感じられた。それは私にとっても勉強になりました。今では大賞ばかりではなく、ノミネート作品にも注目が集まるようになりましたし、いろいろな効果が出ています。

— 「宣伝から書店までの導線」ですか。

古幡 新刊については、さらに顕著です。一昔前は、発売4日とか5日前までに取次に対して新刊の発売を連絡するというのが当たり前のルールでした。これでは、準備期間があまりにも短くて、書店に本が並んだ時にしか売れない。まさに売上げの波が「立ち幅跳び」状態でした。これはあまりにもったいない。発売までにしっかりとプロモーション期間を取って盛り上げていけば、消費者の期待値を上げ、予約発注で数を稼ぎ、発売日に“より高い山(売上げ)”を作ることができます。大きな“山”ができると、書店が仕入れるので、更に売れる。好循環が生まれ、売上げの波が「三段跳び」になるのです。

新聞広告は書店員も注目 本の売上げに直結する

— 出版広告に対する、新聞媒体のメリットはどのような点だと思いますか。

古幡 やはり親和性ですね。新聞を取っている方は、間違いなく活字を読んでいる方なので。

— 朝日新聞の出版広告についての「広告掲載後の売上げ伸び率」(下グラフ参照)を見ると、掲載日には確実に売上げが伸びていることが分かります。

古幡 朝日新聞は、広告が掲載されるだけで既にブランド力があります。書店員や取次の社員は、「どんなに忙しくても、毎朝、全国紙の下(広告部分)だけは見ろ」と言われるほど、効果を実感しています。広告の切り抜きを持って来店される方も多いため、書店も新聞広告に掲載された本は、なるべく目立つように配置します。それは大きなメリットであり、数字に表れやすいと思います。

— 古幡さんが新聞広告を打つなら、どのような点を重視しますか。

古幡 そうですね。掲載する曜日かな。例えば、朝日新聞の書評は土曜日掲載です。私はずっと書評は土曜日が

良いと言ってきたんです。なぜなら、書店の来店人数は土曜日が一番多いから。週末に本を読もうと思ったら、金曜日か土曜日に買いたくなりますよね。そのためには、広告を打つなら木曜日とか金曜日とか……。発売日や、他のメディア露出との関係性も考える必要があります。多くのデータを蓄積して分析することで、まだまだ新聞広告の可能性や活用法も広がりそうですね。

他社のデータほどよく見て 宣伝プランに役立てる

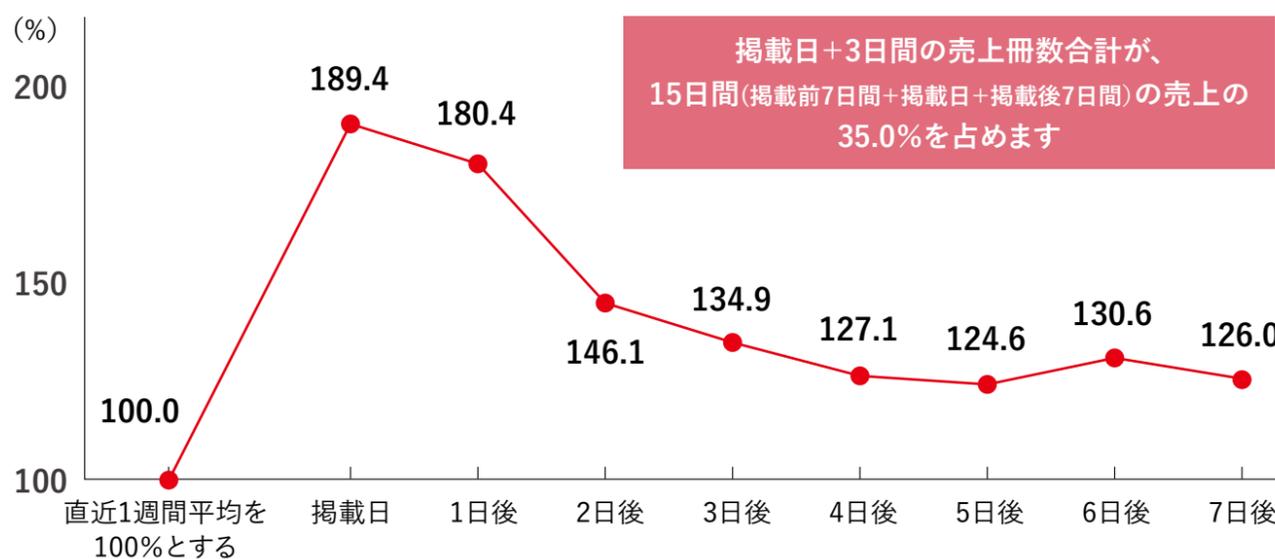
— 出版社の編集や宣伝・広報に携わっている方に、より一層本を売り伸ばすためのアドバイスをお願いします。

古幡 もっとデータを見てほしいということですね。データという自分の携わった本だけを見て満足してしまう人が多いですが、周りで何が売れているのか、何がブームなのか、他社のデータほどよく見て、本作りや宣伝プランに生かしてほしいです。あとは、地味な話で



すけれど、本の在庫の確認ですね。宣伝を打っても、書店に本がないと、当然ながら売れません。また現在は初版部数が少ない本が多いので、何度も重版を繰り返さないとベストセラーになりません。だからこそ、先ほどお話ししたように、助走期間を持って本を宣伝して、まずは発売日に大きな山を作り重版につなげていく。そしてまた山を作り重版へ……と、長い期間で宣伝プランを作ることが大切だと思います。

■ 朝日新聞広告掲載後の売上げ伸び率

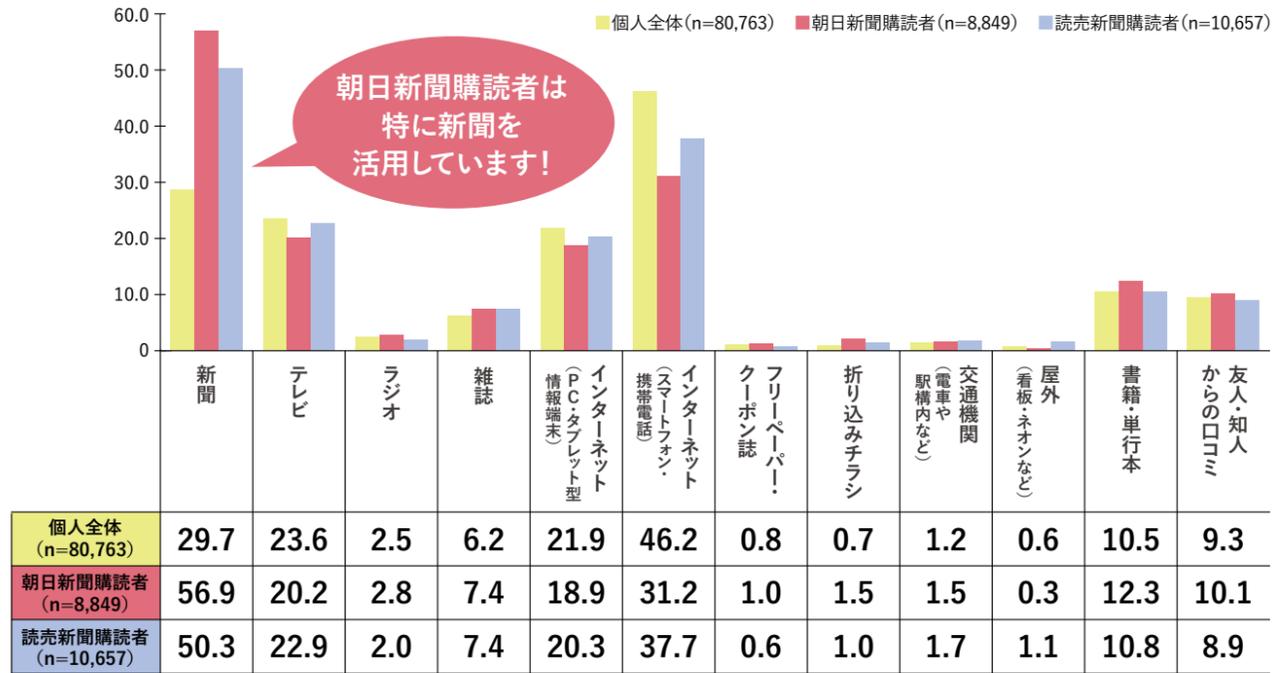


調査対象:2022年6月~7月に朝日新聞に掲載された半5、5段、7段、15段の書籍広告のうち、1書目がスペースの半分以上を占めた書籍 n=127 2022年6月1日~7月31日掲載広告(掲載前1週間の売上げが10冊未満は除く)
データ提供:日販オープンネットワークWIN
資料作成:朝日新聞社総合プロデュース本部営業推進部
調査時期:2022年8月

■ 書籍・書評の情報入手媒体として活用される新聞

書籍・書評の情報入手媒体として、新聞は他のメディアよりも支持されています。
特に朝日新聞購読者は、半数以上が新聞を書籍情報の入手手段として活用していることが分かります。

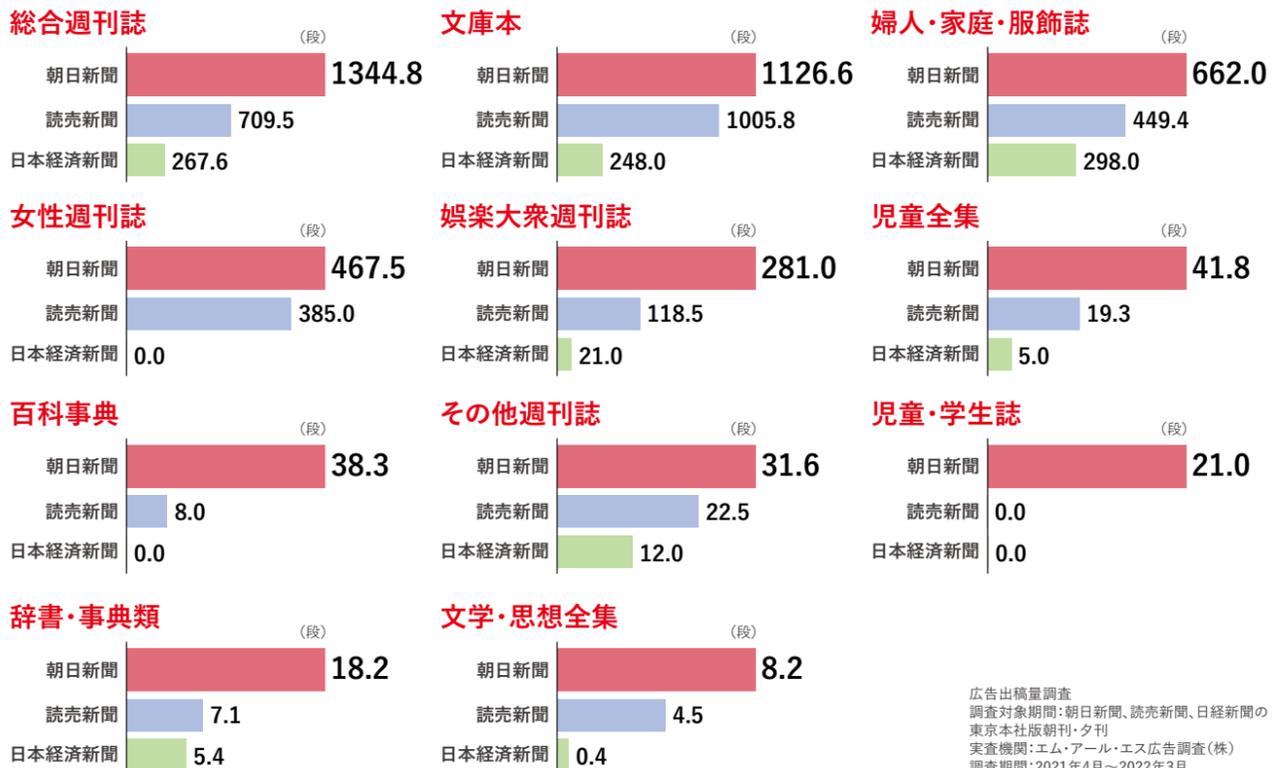
書籍・書評に関する情報の入手媒体(%) ※J-READ2021/複数回答



(株)ビデオリサーチ「J-READ 2021」より

■ 朝日新聞への年間広告出稿量

各ジャンルの出版広告の広告掲載量は、朝日新聞が他紙に比べて多くなっています。
出版広告の効果的な広告媒体として評価されていることが分かります。



広告出稿量調査
調査対象期間:朝日新聞、読売新聞、日経新聞の
東京本社版朝刊・夕刊
実査機関:エム・アール・エス広告調査(株)
調査期間:2021年4月~2022年3月

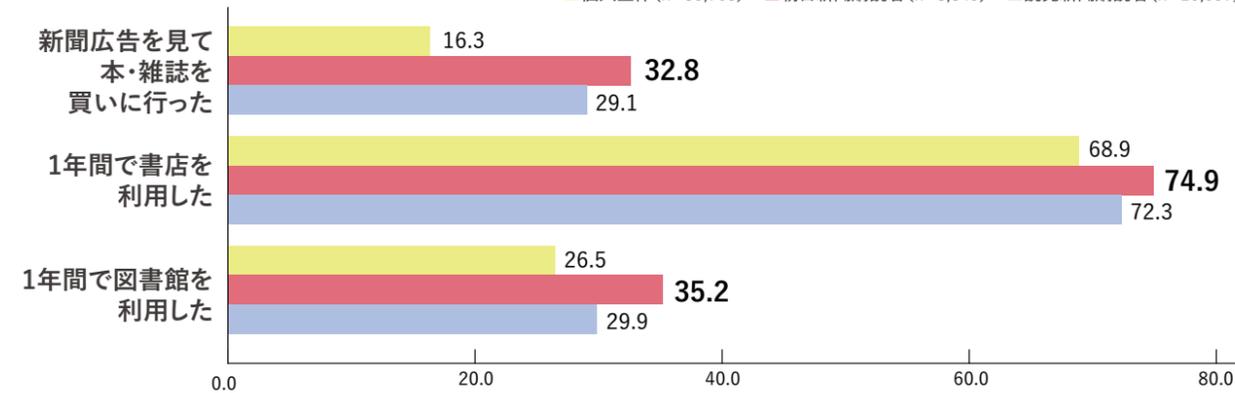
■ 本を動かす! 朝日新聞購読者

データはこちらから
ダウンロードできます



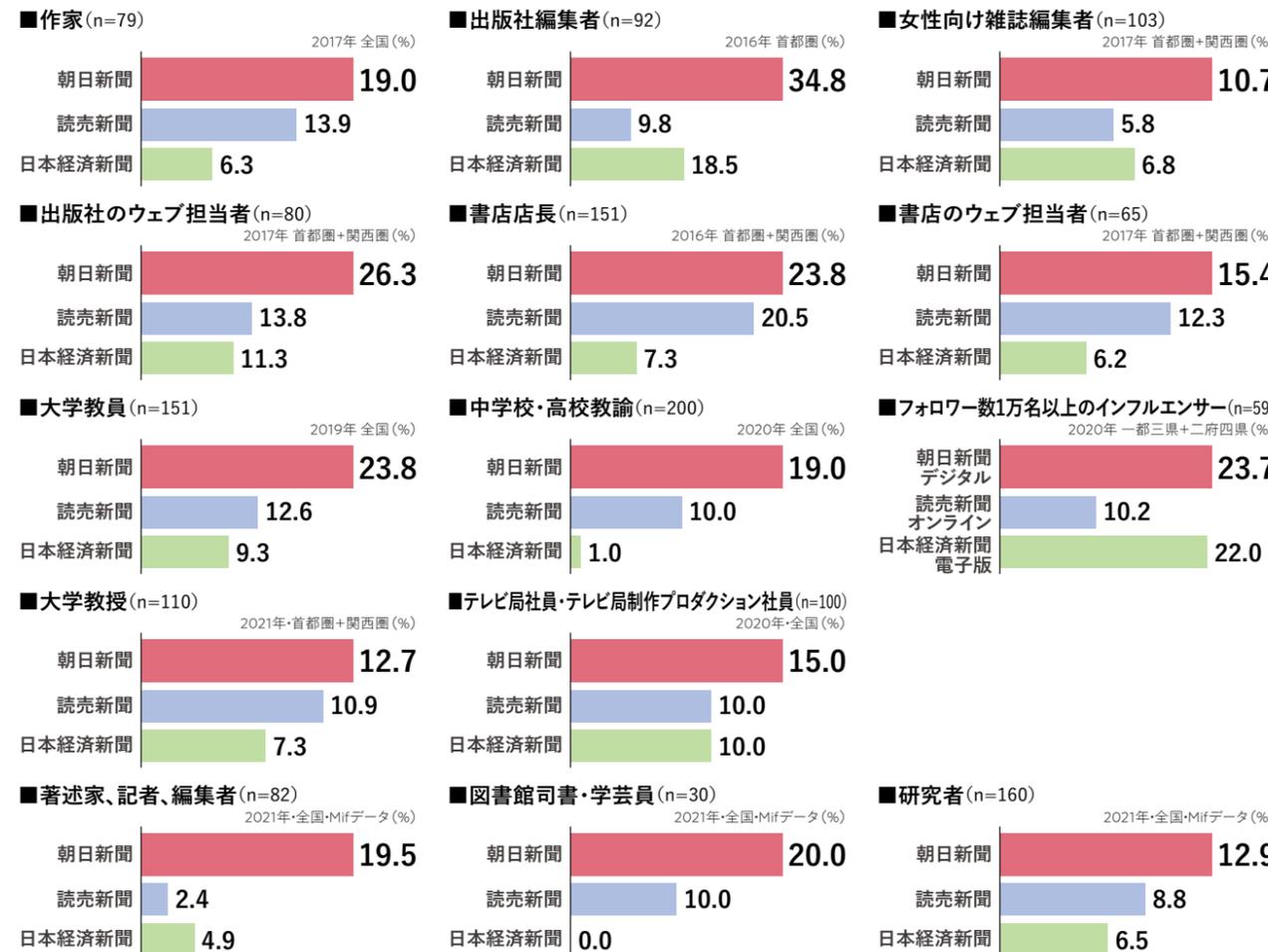
朝日新聞購読者は、書店や図書館の利用が多くなっています。
また、新聞広告を見て本を買に行った人も多く、書店への来店にもつながっていることが分かります。
本に関心が高く消費行動が活発な、まさに「本を動かす」読者であることが分かります。

本に関する行動(%) ※J-READ2021



■ 出版業界の有識者に支持される朝日新聞

朝日新聞は、作家や編集者など、出版関係者に多く購読されています。
また、消費者へのインフルエンサー(大きな影響力を持つ人物)に支持されている点も特徴です。



有識者購読調査 調査地域:全国、首都圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)、関西圏(大阪府、京都府、兵庫県、滋賀県、奈良県、和歌山県)
実査機関:レターヘッド:2016年(株)マーケティングセンター、2017年~2021年クロス・マーケティング
朝日新聞:エム・アール・エス広告調査(株) 調査期間:2021年4月~2022年3月
朝日新聞:エム・アール・エス広告調査(株) 調査期間:2021年4月~2022年3月
朝日新聞:エム・アール・エス広告調査(株) 調査期間:2021年4月~2022年3月

周年・創刊・受賞

新聞広告はニュース性が特徴。文学賞の受賞告知や周年・創刊など、その日に合わせたメッセージを効果的に伝えます。



小学館『古寺行こう』
2022年3月8日 朝刊 全15段



岩波書店
『岩波ジュニアスタートブックス』
2021年3月29日 朝刊 全5段



エムディエヌコーポレーション
『Mdn新書』
2021年4月7日 朝刊 全5段



秋田書店『「このマンガがすごい!2022」オンナ編』
2021年12月9日 朝刊 全15段



小学館『手塚治虫文化賞』
2022年4月25日 朝刊 全7段



講談社
『栗原はるみ』
2022年3月4日 朝刊 半5段



『料理レシピ本大賞』
2021年9月8日 朝刊 全5段



中央公論新社
『本屋大賞』
2021年4月17日 朝刊 全5段



講談社
『芥川賞』
2022年7月30日 朝刊 全5段



ワニブックス
『料理レシピ本大賞』
2021年9月8日 朝刊 半5段



サンクチュアリ出版
『料理レシピ本大賞』
2021年9月8日 朝刊 半5段



筑摩書房
『本屋大賞 ノンフィクション本大賞』
2021年11月28日 朝刊 半5段



文藝春秋
『直木賞』
2022年7月29日 朝刊 全5段



早川書房
『本屋大賞』
2022年4月12日 朝刊 全5段

大型展開・話題作

新刊やキャンペーンの告知に限らず、
定番の作品やシリーズ作品のラインアップに至るまで、
迫力のあるクリエイティブで効果的に訴求します。



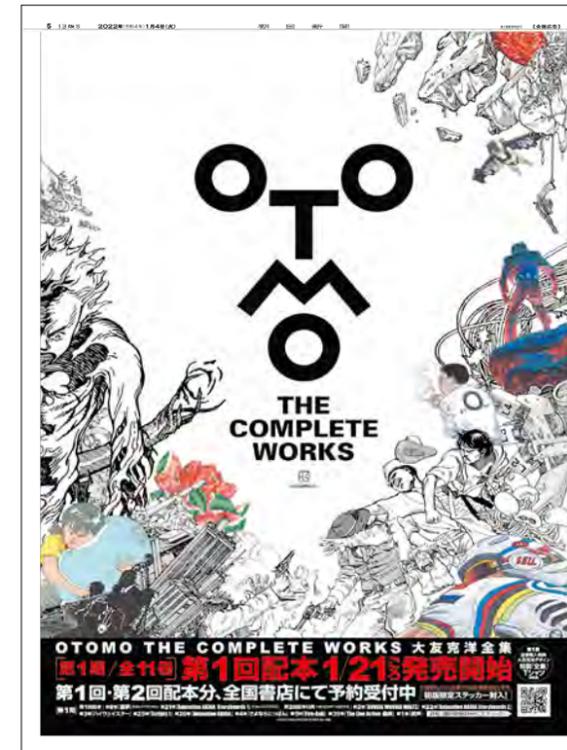
NHK出版『NHKテキスト』
2021年3月29日 朝刊 全15段



幻冬舎『いのちの停車場』ほか
2021年4月11日 朝刊 全15段



集英社『人新世の「資本論」』
2021年8月26日 朝刊 全15段



講談社『OTOMO THE COMPLETE WORKS』
2022年1月4日 朝刊 全15段



角川春樹事務所『あきない世傳 金と銀』ほか
2021年8月10日 朝刊 全15段



KADOKAWA『孤狼の血LEVEL2』
2021年8月19日 朝刊 全15段



日本図書普及『#1万円のエール』
2022年3月20日 朝刊 全15段



ポプラ社『その本は、』
2022年7月30日 朝刊 全15段

大型展開・話題作

大型展開・話題作

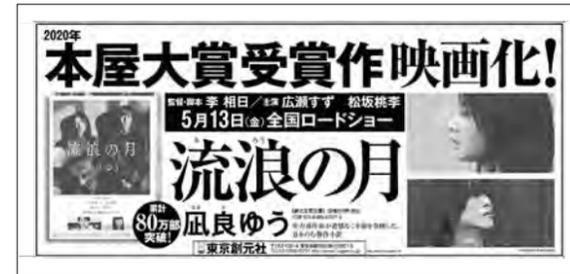
記事下スペース活用事例



朝日出版社
『CNN GLENTS』
2021年7月19日 朝刊 全5段



文藝春秋
『「知の巨人」立花隆のすべて』
2021年8月17日 朝刊 全5段



東京創元社
『流浪の月』
2022年5月13日 朝刊 全5段



河出書房新社
『くるまの娘』
2022年5月14日 朝刊 全5段



実業之日本社
『フーガはユーガ』
2021年10月10日 朝刊 全5段



文芸社
『出版相談会』
2021年12月22日 朝刊 全5段



朝日新聞出版
『豊田章男の覚悟』ほか
2022年5月23日 朝刊 全5段



光文社
『映画を早送りで見ると観る人たち』
2022年5月25日 朝刊 全5段



日経BP
『ファクトフルネス』『「不死」の講義』
2021年12月29日 朝刊 全5段



アスコム
『世界の「頭のいい人」がやっていることを1冊にまとめてみた』ほか
2022年1月26日 朝刊 全5段



マガジンハウス
『捨てない生きかた』ほか
2022年5月29日 朝刊 全5段



すばる舎
『人は話し方が9割』
2022年6月27日 朝刊 全5段



文藝春秋
『女のいない男たち』
2022年4月10日 朝刊 全5段



国書刊行会
『マゼラン雲』ほか
2022年4月27日 朝刊 全5段



大和書房
『「本当の自分」がわかる心理学』ほか
2022年7月2日 朝刊 全5段



ダイヤモンド社
『メイクがなんとなく変なので 友達美容部にコツを全部聞いてみた』ほか
2022年7月18日 朝刊 全5段



東洋経済新報社
『13歳からの地政学』
2022年7月2日 朝刊 全5段



有斐閣
『まだ、法学を知らない君へ』ほか
2022年7月2日 朝刊 全5段



双葉社
『双葉文庫 7月の新刊』
2022年7月18日 朝刊 全5段



PHP研究所
『老いの品格』など
2022年7月22日 朝刊 全5段



新潮社
『新潮文庫の100冊』
2022年7月3日 朝刊 全5段



集英社
『ナツイチ』
2022年7月5日 朝刊 全5段



サンマーク出版
『死ぬまで歩けるからだの使い方 100年足腰』
2022年7月29日 朝刊 全5段



JTBパブリッシング
『ノジュール』
2022年7月30日 朝刊 全5段



KADOKAWA
『カドブン夏フェア2022』
2022年7月9日 朝刊 全5段



ミネルヴァ書房
『北条時政』ほか
2022年7月9日 朝刊 全5段



1万年堂出版
『歎異抄ってなんだろう』『こころ彩る 徒然草』
2022年8月3日 朝刊 全5段



扶桑社
『à table SHIMA』
2021年11月20日 朝刊 半5段



アチーブメント出版
『メンタルを強くする食習慣』
2022年7月10日 朝刊 全5段



文響社
『身近な人の死後の手続き』ほか
2022年7月12日 朝刊 全5段



日本ヴォーグ社
『クラソウ』
2022年6月8日 朝刊 半5段



産業編集センター
『スクープの犬』ほか
2022年8月25日 朝刊 半5段

雑誌

雑誌広告は新聞への定期的な出稿により
新聞読者に想起を促し、存在感を高めています。
また、雑誌の特徴を生かしたクリエイティブの全面広告も出稿されています。

コミック

コミックの新聞出稿はSNSなどで大きな話題を呼ぶことが多く、
ファンとのコミュニケーションの舞台として活用されています。



日之出出版『Safari』
2021年5月25日 朝刊 全15段



光文社『VERY』
2022年5月7日 朝刊 全15段



双葉社『じゃん子チエ』
2021年8月7日 朝刊 全15段



KADOKAWA『戦争は女の顔をしていない』
2022年3月26日 朝刊 全15段



致知出版社『致知』
2022年9月5日 朝刊 全15段



暮しの手帖社
『暮しの手帖』
2021年11月28日 朝刊 全5段



集英社
『eclat』
2022年3月1日 朝刊 全5段



集英社『ONE PIECE』
2022年7月22日 朝刊 全15段



小学館
『flowers』
2022年5月29日 朝刊 全5段



文藝春秋
『日本のいちばん長い日』ほか
2022年8月14日 朝刊 全5段

コミック

講談社『東京卍リベンジャーズ』

2017年から「週刊少年マガジン」で連載が始まり、21年4月にアニメ化、7月に映画が公開された『東京卍リベンジャーズ』。ファン層が大きく広がるなか、最新刊発売日に47都道府県別で地域ごとに「オレの地元が最強」をテーマに内容を切り替えた広告展開を実施。SNSを通じて大きな話題となり、新規ファンの獲得にもつながりました。



東京 2021年9月17日 朝刊 全15段



愛知



大阪



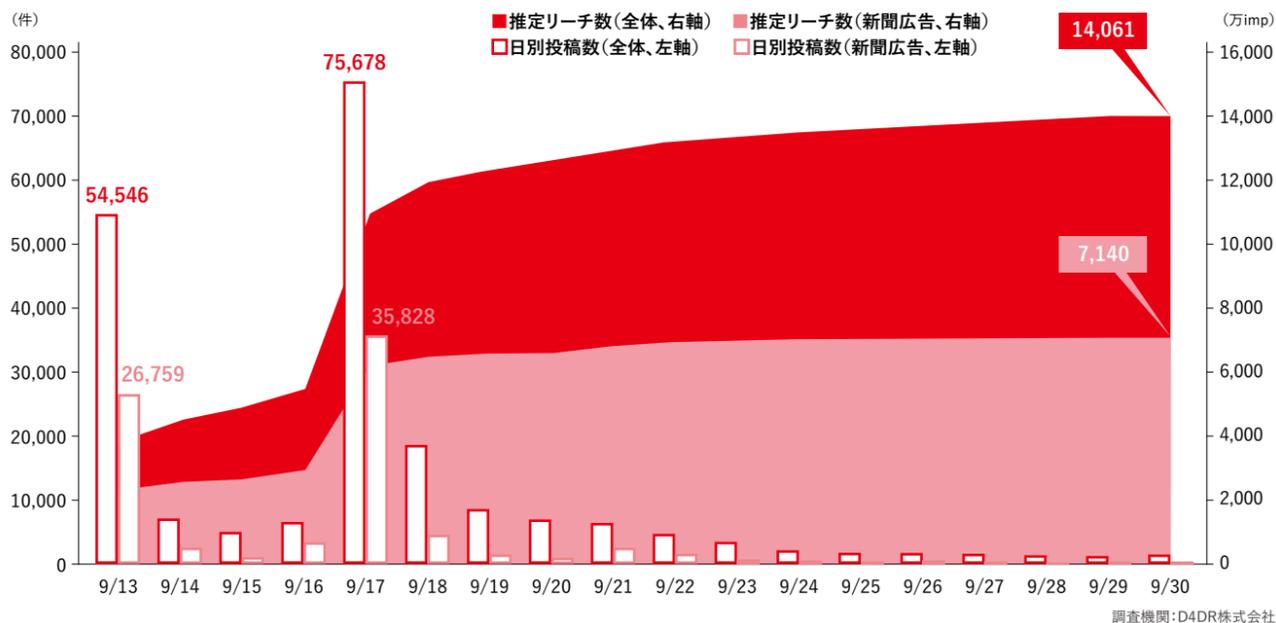
北海道



福岡

2021年9月13日から30日までの18日間に「日本リベンジャーズ」関連で20万8,371件の話題、1億4,061万impの推定リーチが発生。話題量の約半数が新聞広告に言及していました。

■講談社『東京卍リベンジャーズ』



白泉社『ベルセルク』

全世界累計発行部数は5千万部(※1)を超え、世界中にファンを持つ人気マンガ『ベルセルク』(三浦建太郎)の最新41巻が前巻から約3年3か月を経て2021年12月24日(金)に発売(※2)、朝日新聞、ニューヨーク・タイムズ、ル・モンド3紙で広告が掲載されました。(※1:紙の書籍と電子版の合計発行部数 ※2:アメリカおよびフランスでは2022年夏発売)



2021年12月24日 朝刊 全15段 朝日新聞

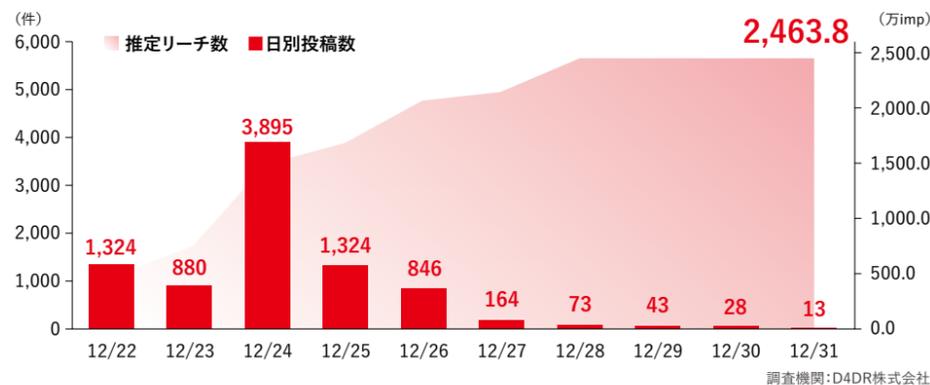


2021年12月24日 朝刊 全15段 ニューヨーク・タイムズ



2021年12月25日 夕刊 全15段 ル・モンド

■白泉社「ベルセルク 41巻」三浦建太郎(全体)



ツイート総数: 8,590件
推定リーチ数: 24,638,473imp

日本語
ツイート総数: 6,424件
推定リーチ数: 15,648,050imp

英語・フランス語
ツイート総数: 2,166件
推定リーチ数: 8,990,423imp



「親が子供に買う」「保存用と飾る用」など、海外でも日本と同じように新聞紙面をSNSにアップしている様子。

児童書・学習参考書

家庭で話題になるよう工夫を凝らしたクリエイティブが紙面を飾ります。
子供や孫へのプレゼントとして、児童書の購買層を
しっかり捉える媒体として新聞広告は活用されています。



白泉社『ノラネコぐんだん』シリーズ
2021年3月5日 朝刊 全15段



借成社『100かいたてのいえ』シリーズ
2021年5月23日 朝刊 全15段



KADOKAWA『パンどろぼう』シリーズ
2021年12月4日 朝刊 全15段



『ヨシタケシンスケ展かもしれない』開催記念企画
2022年4月8日 夕刊 全15段



飛鳥新社『ぼくモグラキツネ馬』
2021年9月22日 朝刊 全15段



借成社『ふしぎ駄菓子屋 銭天堂』シリーズ
2021年9月23日 朝刊 全15段



学研『学研の科学』『学研の図鑑 LIVE』
2022年7月7日 朝刊 全5段見開き



静山社
『クリスマス・ピッキング』『イッカボッグ』
2021年10月15日 朝刊 全5段



小学館
『小学館の図鑑 NEO [新版] 岩石・鉱物・化石』
2022年6月26日 朝刊 全5段

児童書・学習参考書

児童書・学習参考書

正月広告

正月広告は各企業が自社の姿勢を読者にアピールする場となっています。各出版社が意匠を凝らして自社のカラーを出した原稿を出稿しています。



岩波書店『私たちは明日を知るために、過去に遡る。』
2022年1月1日 朝刊 全15段



講談社『Open New Stories!』
2022年1月1日 朝刊 全15段



ポプラ社『かいつゾロリの2022年もだいぼうけん!』
2022年1月1日 朝刊 全15段



ハースト婦人画報社『婦人画報のお取り寄せ』
2022年1月1日 朝刊 全15段



集英社『人と、人の、あいだ。』
2022年1月1日 朝刊 全15段



小学館『100周年。もっと自由に。』
2022年1月1日 朝刊 全15段



新潮社
『おとなだって、はじめはみんな子どもだったのだから。』
2022年1月1日 朝刊 全5段



大修館書店
『ことばを贈ろう。』
2022年1月1日 朝刊 全5段



文藝春秋
『文藝春秋100年、新世紀へ』
2022年1月1日 朝刊 全5段



光文社
『つらいことも悲しいことも1年は続きません』
2022年1月1日 朝刊 全5段

正月広告

正月広告



NHK出版「いろいろ」
2022年1月1日 朝刊 全5段



中央公論新社「婦人公論」
2022年1月1日 朝刊 全5段



聖教新聞社「深い闇ほど言葉で照らしたい」
2022年1月1日 朝刊 全5段

メッセージ広告

新聞紙面は企業姿勢を伝えるパブリックな場です。
新聞広告により、真剣なメッセージを読者に伝えることができます。



宝島社「男でも、首相になれるの?」
2022年1月6日 朝刊 全30段

多彩な紙面企画

プロジェクトや記念日に合わせて様々な企画を立ち上げています。
複数の出版社が一つの企画に出稿することで、
一貫性や統一感が生まれます。



子ども六法プロジェクト
2021年8月27日 朝刊 全15段



MOE絵本屋さん大賞2021
2021年12月28日 朝刊 全15段



大学出版部協会「大学から社会へ」
2021年10月30日 朝刊 全5段



サンタさんのための絵本カタログ
2021年12月6日 朝刊 全5段



紀伊國屋じんぶん大賞2022
2022年2月20日 朝刊 全5段



ロシア・ウクライナ企画
2022年7月5日 朝刊 全5段

テレビ面活用事例

接触率の高いテレビ面を有効に活用することで、高い効果が期待できます。

小 枠

朝刊1面を飾る「サンヤツ」「サムツ」の他、読書面掲載の「5段12割」は、伝統の小枠広告として親しまれています。また、近年は、「〇〇の日」に合わせたカラーサンヤツ、カラーサムツも好評です。



マガジン・マガジン『ねこキャンカレンダー-MOOK2022』ほか
2021年12月5日 朝刊 テレビ面BS上



宝島社『moz あったか スウェットセット BOOK』
2021年12月9日 朝刊 テレビ面表札



KADOKAWA『ドクター・ホワイト』
2022年3月28日 朝刊 テレビ面表札



ハルメク『スマホ 操作のわからないを劇的解消!』
2022年7月20日 朝刊 テレビ面インタビュー下



3段8割(サンヤツ)
2022年1月1日 朝刊 全3段



3段6割(サムツ)
2022年7月28日 朝刊 全3段



5段12割
2022年7月9日 朝刊 全5段

小 枠

テレビ面活用事例



児童書カラーサンヤツ
2022年5月5日 朝刊 全3段



沖繩 本土復帰から50年
2022年5月15日 朝刊 全3段



7月22日は「海の日」
2021年7月22日 朝刊 全3段



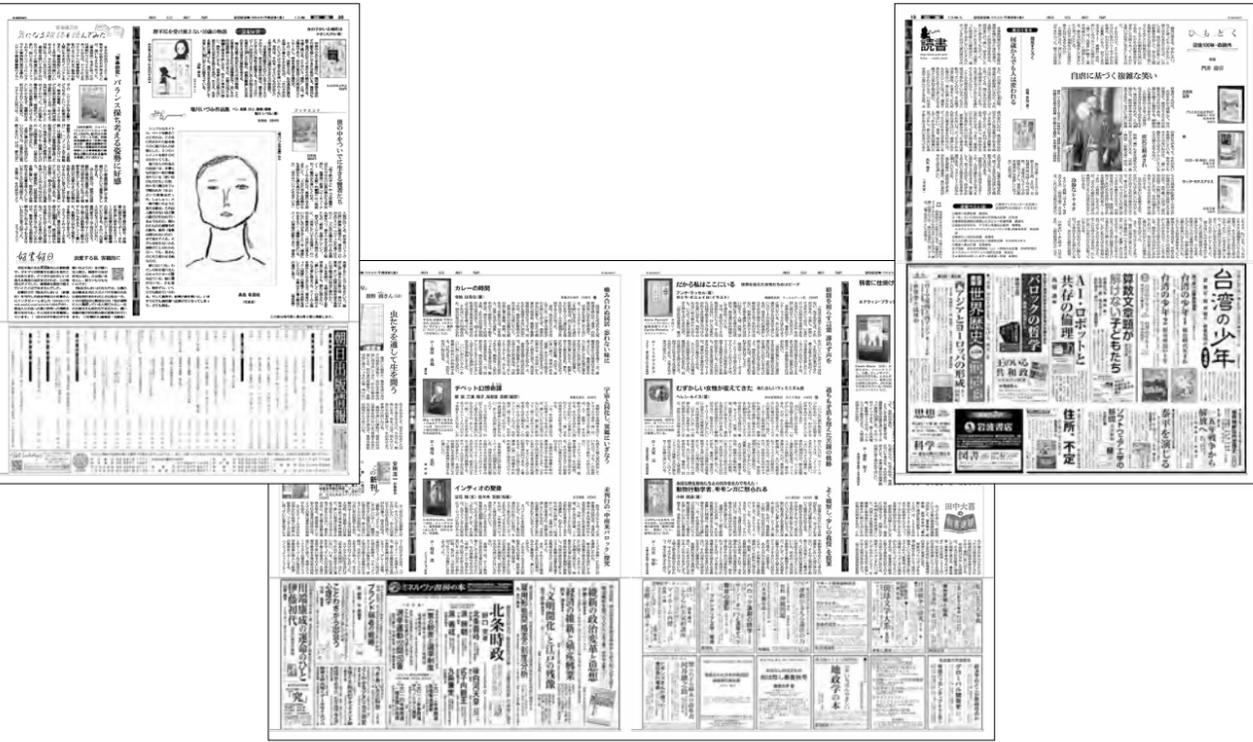
コミックサンヨツ
2022年7月31日 朝刊 全3段

読書面

毎週土曜日に掲載している読書面は、週末の書店誘導に効果的です。読書好きの読者だけでなく、全国の書店員の方々からも注目されています。



2月22日はネコの日
2022年2月22日 朝刊 全3段



読書面
2022年7月2日、9日 朝刊 全60段



QRためし読みカタログ
2022年3月18日 朝刊 全3段、天声人語左

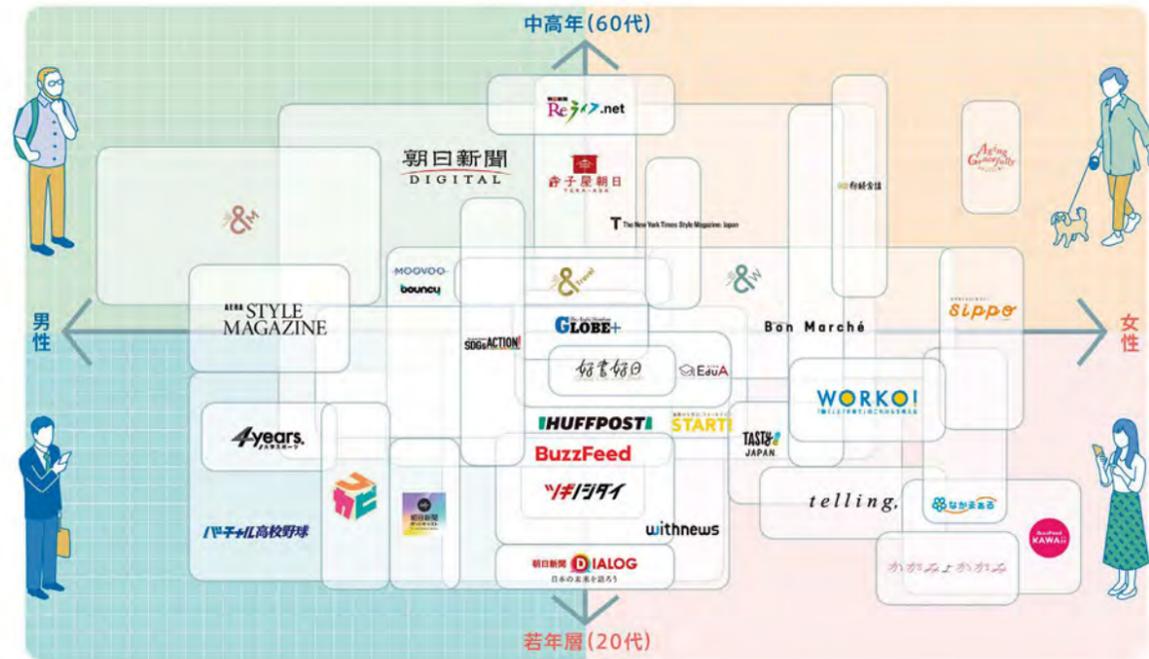


紙面外への挑戦

朝日新聞社では、多岐にわたるメディア展開・デジタル媒体の開拓を通じて、読者と本との接点を広げています。

■総合メディア企業として～新聞社機能活用

朝日新聞は紙媒体の発行に留まらず、デジタル領域の開拓や体験型のイベント展開など、総合メディア企業としての機能を日々拡大しています。



■朝日新聞デジタル asahi.com

朝日新聞
DIGITAL



ターゲット

30代・40代の男女(スマホは20代後半、PCは50代前半にも)。

特徴

- 国内最大級、安心・安全なジャーナリズムメディア。
- データマーケティングにも注力、リッチなクリエイティブも制作可能。

優良な読者

こんな読者に支えられています

- 幕の内弁当ラバー: 慣れ親しんだ好きなニュースのつめあわせ(幕の内弁当)を毎日食べたい人。紙面のレイアウトでニュースを摂取することで、興味のなかった話題にも出会えると感じている。
- 良き市民: 偏りのない見識を持つことで、世の中はもっと良くなると思っている人。社会課題解決への意識が高く、好きな情報だけでなく、大事な情報を広く偏りなく得たいと考えている。
- ワンアップ: 一般常識や教養を身につけて、仕事で今よりもレベルアップしたい人。仕事の参考になる時事問題だけでなく、読み物などにも触れて、読むコンテンツの幅を広げようとしている。

信頼

万全のブランドセーフティー、アド Fraud、ビューアビリティ対策。IAS社と提携しグローバルスタンダードで計測&フィルタリング可能。

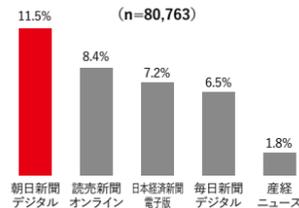
PV: 1.8億/月

UU: 5,533万/月

(2021年4月～2022年3月平均)

利用率 No.1

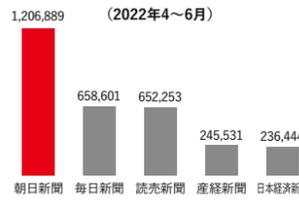
過去1カ月の利用サイト (n=80,763)



J-READ 2021

ツイート数 No.1

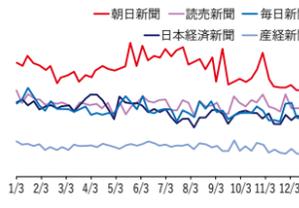
「〇〇新聞」のツイート数 (2022年4～6月)



Social Insight 2022

検索数 No.1

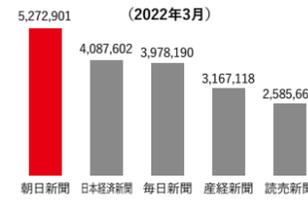
「〇〇新聞」の検索数(2021年1～12月)



Google Trends 2021

LINE友だち数 No.1

LINE友だち数 (2022年3月)



LINE 2022

■好書好日 book.asahi.com

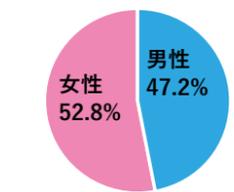


本や著者の紹介、「～したい」「～な気分」といった気持ちやシーンに沿った本の提案、映画の原作から絵本の紹介まで、人生を豊かにしてくれる本との出会いを助ける本の情報サイトです。新刊告知やイベント・キャンペーン、プレゼントパブリシティー、カスタマイズ企画などの広告商品をお求めいただけます。

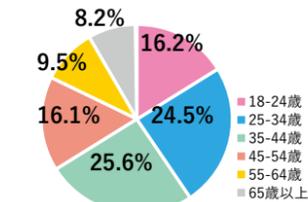
ユーザーデータ

25～44歳を中心に、情報感度の高い読者に読まれています。

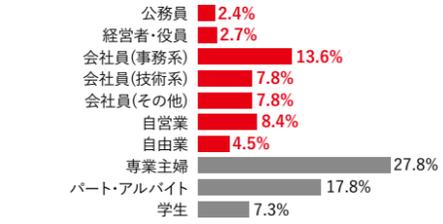
■性別 男女は約半々。女性がやや多い



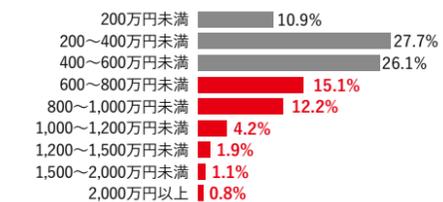
■年齢 44歳までの読者が約7割



■職業 ビジネスパーソンが過半数。主婦層からも支持



■世帯年収 3世帯に1世帯が年収600万円超



※性、年代、記事ランキングはGoogle Analytics調べ(2021年10月～22年9月) ※その他はIntimate Merger社が保有するCookie連携に基づく推計値(2021年1月)

■じんぶん堂 book.asahi.com/jinbun/



出版社と朝日新聞社による「人文書の魅力」を伝えていく読書推進プロジェクトとして、2019年11月に発足しました。「好書好日」内の専門サイト「じんぶん堂」を起点に、「コンテンツ」「プロモーション」「イベント」を展開。人文書との出会いの場を提供しています。

ブックフェアの開催

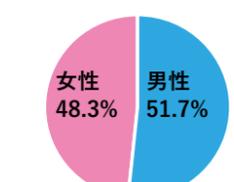


サイトオープン2周年を記念して、2022年2月～5月に、紀伊國屋書店(新宿本店、梅田本店、札幌本店、広島店、横浜店、さいたま新都心店)、三省堂書店名古屋本店、ジュンク堂書店池袋本店にて加盟出版社の書目を中心にしたブックフェアを開催。店頭にて特別小冊子を配布しました。

ユーザーデータ

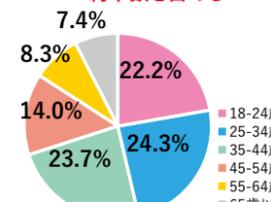
若年層を中心に、自然検索から多くのユーザーがアクセスしています。

■性別 男女は約半々。男性がやや多い



Google Analytics 2021年10月～22年9月

■年齢 18～34歳が46.5%と約半数を占める



ページビュー数 21万PV
セッション数 18万セッション
ユニークユーザー数 16万UU

※Google Analytics 2022年7月

SNS拡散

Twitter 4,001
Facebook 569

※2022年10月

ページビュー数 82万PV
セッション数 59万セッション
ユニークユーザー数 47万UU

※Google Analytics 2021年10月～22年9月 月平均

SNS拡散

Twitter 80,089 Instagram 4,592
Facebook 7,281 Mail Magazine 9,332

※2022年10月 ※Mail Magazineは10月15日配信のメルマガの「配信済みメッセージ数」

コンテンツ

社会課題に関するトピックやカルチャーに関するコンテンツが特に読まれています。著者が人生を語るインタビュー、悩み解決に役立つ本のおすすめなど、本の紹介を通して「人」が主役の記事を届けています。

人気のジャンル

- 01 社会課題
- 02 カルチャー
- 03 文芸
- 04 映像化作品
- 05 芸能

おもな連載・特集

- 朝日新聞に掲載された書評
- 谷原章介の「谷原書店」
- 滝沢カレンの物語の1歩先へ
- 人気作家のリレーエッセー「大好きだった」
- えほん新定番
- 新作映画、もっと楽しむ
- 働きざかりの君たちへ
- BLことはじめ
- 料理が教えてくれたこと
- 朝宮運河のホラーワールド涉猟



コンテンツ

注目の人文書の抜粋や、著者エッセイ・インタビュー、書店員の推薦書などを発信。加盟出版社は自社の人文書を紹介する記事を執筆。サイトから発信いただけます。自然検索からの流入が全体の4分の3と多く、記事は長期間にわたって読まれています。

加盟社募集中

「じんぶん堂」では出版社の加盟を募集しています。ともに人文書の魅力を届けませんか。詳しくは「じんぶん堂」事務局 jinbundo-support@asahi.com まで。

■今村翔吾×山崎怜奈の言って聞かせて(ABCラジオ)



朝日放送ラジオと朝日新聞の共同プロジェクトとして、出版業界を盛り上げるために本や歴史について語る番組を2022年10月から開始しました。パーソナリティは作家としての活動にとどまらず、あらゆることに挑戦してきた直木賞作家・今村翔吾さん。パートナーは歴史・ラジオが大好きな山崎怜奈さんが務めます。2人の共通点は『本』と『歴史』。2人だからこその『歴史』の話、『本』にまつわる話、リスナー参加コーナーなど楽しい企画が盛りだくさんの30分。本にまつわるゲストもお呼びしていきます。ABCラジオのほか、radiko、Spotify、Podcastでも配信。

- 私を構成する1冊■
MCやゲストが人生を語るうえで、欠かすことのできない1冊の本についてお話をします
- 偉人選抜会議■
テーマに沿って候補者を出し合い、そのテーマに最適な偉人を決めるコーナー
- 物は相談■
皆さんのお悩みを聞き相談に答えていきます

放送時間:木曜日深夜1:30~2:00

今村翔吾
歴史小説家。2022年『塞王の楯』(集英社)で第166回直木三十五賞受賞。書店経営や、テレビでのコメンテーターなどをマルチにこなす。22年8月から朝日新聞朝刊にて『人よ、花よ、』連載中。

山崎怜奈
タレント、ラジオパーソナリティ。1997年生まれ。著書『歴史のじかん』(幻冬舎)発売中。クイズ番組にも多数出演。Instagram 25.4万フォロワー 山崎怜奈(@rena_yamazaki.official)

公式SNS

- Twitter: 今村翔吾×山崎怜奈の言って聞かせて (@ittekikaseteABC)
- Instagram: 今村翔吾×山崎怜奈の言って聞かせて (@ittekikaseteabc)

■朝日新聞ポッドキャスト

音声による報道番組「朝日新聞ポッドキャスト」は、国際、政治、経済、SDGsから文化、ネット、文芸、料理、マンガまで、あらゆる分野で、これまでのニュースの枠を超えてファクトに迫ります。現在七つの番組を配信中。開始2年で累計3500万DLを超えました。世界中を飛び回る記者やゲストのとおきのお話を、音声でしか伝えられない熱量や臨場感と共に伝えます。



リスナーは、情報感度やリテラシーが高く、興味関心の幅が広い20~40代の大都市圏在住者が中心。30分以上の音源でも、再生維持率は80%以上。文脈をしっかりと理解してもらえます。

■TikTok

若年層を中心に利用されている動画プラットフォームTikTokでは、個人ユーザーによるおすすめ書籍や、出版社によるプロモーションが活発です。朝日新聞社ではTikTok広告の制作・配信を提供しています。



河出書房新社 『くるまの娘』

国書刊行会 『奇奇怪怪明解事典』

中央公論新社 『三千円の使いかた』

大和出版 『かっこ悪くて、くだらなくて、でも安心できる。人はそれを愛と呼ぶ。』

■タイアップ事例

祥伝社『貴方のために綴る18の物語』
2021年5月7日 好書好日

先行試し読みと、作者への動画インタビュー



講談社『ダーウィン事変』
2022年4月28日 好書好日

編集部による書評

白泉社『かみはこんなにくちやくちやだけど』
2022年5月5日 好書好日

好書好日ツイッターアカウントを活用したコンテストの実施

ワテラスブックフェス

NHK出版『デジタル・ファシズム』
2021年11月16日 好書好日

動画配信を中心に、様々な著者をお招きしたイベント。WATERRAS STUDENT HOUSEの学生も参加し大学生が本のおもしろさを伝えます。

集英社『ソ連兵へ差し出された娘たち』
2022年1月26日 朝日新聞DIALOG

DIALOG学生部と田中優子さんによる座談会の実施



白泉社『かみはこんなにくちやくちやだけど』
2022年5月5日 好書好日

好書好日ツイッターアカウントを活用したコンテストの実施

集英社『こんにちは!同意 誰かと親密になる前に知っておきたい大切なこと』
2022年6月24日 EduA

性教育YouTuberシオリヌさんへの書評インタビュー

双葉社『むかしむかしあるところに、やっぱり死体がありました。』
2021年11月12日 好書好日

作者インタビュー

ポプラ社『かがみの孤城』
2022年4月4日 好書好日

作者インタビュー



EduA

集英社『こんにちは!同意 誰かと親密になる前に知っておきたい大切なこと』
2022年6月24日 EduA

性教育YouTuberシオリヌさんへの書評インタビュー

双葉社『むかしむかしあるところに、やっぱり死体がありました。』
2021年11月12日 好書好日

作者インタビュー

双葉社『むかしむかしあるところに、やっぱり死体がありました。』
2021年11月12日 好書好日

作者インタビュー